

2003 年度(平成 15 年度)

事業報告書

自 2003 年 4 月 1 日

至 2004 年 3 月 31 日

社団法人 企業メセナ協議会

1. 啓発・普及事業(4,669千円)

1.1 セミナー、シンポジウム(692千円)

開催日	会場	テーマ・内容	参加者
5月15日(木)	資生堂アートハウス・企業資料館、グランシップ	■フィールド視察 「資生堂アートハウス・企業資料館@掛川」&「静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ@東静岡」	会員 7名
6月20日(金)	ニッセイ基礎研究所	■会員向けセミナー 「まるごと半日メセナ塾」 講師：吉本光宏氏(ニッセイ基礎研究所)、 中村政人氏(美術家)、西田克彦氏(NEC)ほか	会員 32名
8月8日(金)	グランキューブ大阪 (大阪国際会議場)	■公開セミナー(舞台芸術・芸能見本市2003大阪) 「アートでまちの顔をつくろう！」 ーアートサポート事例研究 in 関西 パネリスト：木ノ下智恵子氏 (神戸アートビレッジセンター) 佐光慶亮氏(麒麟ビール) 前西繁成氏(松下電器) モデレーター：熊倉純子氏(東京藝術大学)	会員・ 一般 92名
10月10日(金)	谷中・上野界限	■フィールド視察 「ぶらぶら歩こう 'art-Link 上野-谷中」 案内人：野口玲一氏(東京藝術大学・大学美術館)	会員 6名
10月28日(火)	トヨタ自動車 本社2階 会議室	■会員向けセミナー 「メセナはお金だけにあらず！アートの助っ人・モノ に場に」ー非資金メセナー パネリスト：鈴木なを子氏(トヨタ自動車) 南雲裕喜氏(NECソフト) 長谷川一雄氏(ホルベイン工業)	会員 19名
11月7日(金)	アサヒビール 本社	■公開セミナー 「アートを100倍楽しむ法…見る・考える・話す鑑賞教室」 講師：アメリカ・アレナス氏(美術史家・美術教育家)	会員・ 一般 24名
12月4日(木)	NEC本社会議室	■会員向けセミナー 「企業とアートがラゲージ?協働による次世代ものづくり」 ゲスト：松田朋春氏(ワークアートセンター) コメンター：西田克彦氏(NEC) 藤井浩美氏(NEC)	会員 14名
12月19日(金)	新国立劇場 東京オペラシティ	■フィールド視察 「新国立劇場&東京オペラシティ」	会員 29名

3月4日(木)	京都芸術センター	■ メセナ入門セミナー 「なぜ、企業はメセナをするの？」 ・ メセナのいろは(事務局 荻原康子) ・ 企業からの支援を受けやすくするために・・・ 助成認定制度のお話(事務局 岩本直子) ・ トークセッション「企業とアートのいい関係のつくり方」 講師：加藤種男氏(アサヒビール) 佐東範一氏 (NPO 法人 Japan Contemporary Dance Network)	会員・ 一般 55名
3月27日(土)	湘南国際村センター 神奈川県立近代 美術館 葉山館	■ フィールド視察 「トヨタ青少年オーケストラキャンプ&神奈川県立 近代美術館 葉山館」	会員 12名

1.2 全国メセナ組織との交流(469千円)

全国メセナネットワーク(加盟15団体)の第8回全国会議が9月26日(金)・27日(土)、島根県出雲市にてネットワーク加盟団体関係者、各地の自治体および地元関係者、一般市民など約180名の参加のもとにアサヒビール、資生堂、松下電器、ワコールの協賛を得て開催されました。

当協議会からは福原会長ほか会員関係者や事務局員など計9名が出席しました。

日程	内 容
9月26日(金)	○基調講演「文化資本と地域振興」 講師：福原義春(企業メセナ協議会会長・理事長) ○パネルディスカッション「地域文化のさらなる活性化のため」 パネリスト：坂根直樹氏(出雲メセナ協会会長) 園山土筆氏(劇団「あしぶえ」代表) 藤岡大拙氏(島根県立島根女子短期大学学長) コメンテーター：熊倉純子氏(東京藝術大学助教授) コーディネーター：岡部康幸氏(山陰中央新報社論説委員) ○情報交流会
9月27日(土)	○総会 ○特別講演「出雲の住居」 講師：藤間亨氏(出雲文化伝承館名誉館長) ○加盟団体活動事例報告 ○意見交換会

2. 情報集配・仲介事業(34,519千円)

2.1 情報紙の発行(6,900千円)

ニューズレター『メセナnote』25号～30号を次の内容で発行しました。

号	巻頭・論説	トップインタビュー	いまどきのアート	フォーラム・レポート
25 5/15 発行	「メセナのこれから」 企業メセナ協議会 会長・理事長 福原義春	「真に創造的な劇場運営を めざして」 彩の国さいたま芸術劇場 館長 諸井誠氏	「今、雅楽が旬！」 音楽学 小野光子氏	「助成認定制度の『相談窓 口』が全国各地に誕生」 企業メセナ協議会 事務局長 角山紘一
26 7/15 発行	「演劇によるコミュニティ づくりとその課題 ～アーツマーケティング の日本の使命～」 演劇評論家 衛紀生氏	「文化資源がまちに、人にも たらず魅力」 ジェイティービー 代表取締役 佐々木隆氏	「第三スピリット」 美術ライター 白坂ゆり氏	「クリエイティブシティ への道～ナント市と横浜 市の取り組みを通して考 える」 横浜市都市計画局政策課 野田邦弘氏
27 9/15 発行	「文化力・経済力考～文化 のデスパレ現象からの 脱却のために」 帝塚山大学大学院 教授 中川幾郎氏	「文化と〈民〉の活力で大 阪を元気にする」 (財)大阪21世紀協会 理事長 堀井良殷氏	メセナ大賞2003 新トロフィー指名 コンペティション 報告	「まちとの深く〈感応〉 の術を」 大阪ガスエネルギー・文化研 究所客員研究員 弘本由香里氏
28 11/15 発行	「公益法人改革3つの 提言」 (財)さわやか福祉財団 理事長・弁護士 堀田力氏	「一企業を超えたパブリッ クな存在意義」 (株)ワコール代表 取締役社長 塚本能交氏	メセナ大賞2003 受賞8活動紹介	「アートもメセナも大転換期」 (国際ネットワーク会議 2003inメルボルン報告) 企業メセナ協議会 事務局 若林朋子
29 1/15 発行	「文化立国への道半ば」 国際日本文化研究セン ター教授 川勝平太氏	「ふるさとの文化を地道に 発信する」 (財)常陽藝文センター 理事長 金沢忠夫氏	「演劇フェスティバル で考える」 (財)セゾン文化財団 久野敦子氏	「アートNPOの台頭」 青森県環境生活部 統括学芸主査 立木祥一郎氏
30 3/15 発行	「ハマって、国際文化交流」 世田谷文化生活情報 センター 館長 永井多恵子氏	「作家の〈内なる心〉を 映しだす空間」 (株)松明堂書店 代表 松本昭氏	「あなたのまちにも 映画館が？」 国際文化交流推進協会 コミュニティシネマ支 援センター事務局 岩 崎ゆう子氏	「文化の力が都市にもた らずもの」 04年2月3日ホテル日航 大阪にて開催の 関西事務所開設記念文化 フォーラムより

2.2 システムの活用(6,943千円)

■データベース「メセナビ」の作成

アートサポートに関する総合データベース「メセナビ」(<http://www.mecenavi.info/>)に、本年度の「メセナ活動実態調査」にもとづく企業約400社のデータを掲載しました。

2.3 資料収集(1,176千円)

メセナ及び文化・芸術関連情報を収集するため、専門書籍・関連資料の購入、関連学会・シンポジウム等への出席、さまざまなアートイベントへの参加等の活動を行いました。

2.4 出版(2,083千円)

協議会主催セミナー、フォーラムの講演記録などを小冊子「メセナ・セミナーシリーズ」としてまとめ、次の3号を発行しました。

号数・発行日	内容
No. 4 04年2月3日	「メセナはお金だけにあらず！アートの助っ人・モノに場に」 2003年10月28日 会員向けセミナー収録
No. 5 04年3月31日	「どう考える?!メセナの評価」～誰をどのように支援するか?～ 2002年11月25日・12月11日 研究会×2収録 講師：鈴木均氏(NEC)、片山正夫氏(セゾン文化財団)
No. 6 04年3月31日	「文化の力が創造的な都市をつくる」 2004年2月3日 関西事務所開設記念文化フォーラム(大阪)収録

2.5 コーディネート事業(8,165千円)

会員企業からの要請を受けて、次のコーディネート事業を引き続き実施しました。

企業・団体名	業 務 内 容
トヨタ自動車(株)	トヨタ・アートマネジメント講座の企画、運営(4講座)
アサヒビール芸術文化財団	アサヒ・アート・コラボレーションの企画、制作

3. 調査研究事業(8,705千円)

3.1 「メセナ活動実態調査」の実施(2,847千円)

2002年度における企業メセナの実態調査は、調査部会の協力のもとに4月～5月、4,109社を対象に実施し、619社から回答を得ました。

このうち2002年度にメセナを実施した企業は392社で総活動件数は2,560件、1社平均6.5件でした。

活動費総額につき回答のあった320社について活動費総額の1社当たり平均は、前年度より433万円増の6,645万円で、比較可能な4年連続総額回答企業の1社当たり活動費は、前年度より510万円減の1億182万円でした。

※ 本調査の結果については、『メセナnote 28号』に別冊「メセナレポート2003」として紹介するとともに、各企業の活動実績をデータベース「メセナビ」に掲載。11月13日(木)に如水会館(東京)にて記者発表会を行いました。

3.2 研究活動 (828千円)

(1) 研究部会(590千円)

「企業メセナとアートNPO」について研究部会で研究を進めるとともに、一般会員にも参加を呼びかけての研究会を下記のとおり実施しました。

■ 「NPOとの協働は企業に何をもたらすか？」

7月28日(月) / ニッセイ基礎研究所・AV会議室 / 参加者34名

コメンテーター：川北秀人氏(IIHOE代表)、川出千夏氏(デンソー)、島田京子氏(日産自動車)

■ 「NPOはアートの代理店となり得るか？ —企業がNPOに期待する“つなぎ手”の役割」

10月30日(木) / アサヒビール本社・小会議室 / 参加者17名

ゲスト：NPO法人Japan Contemporary Dance Network 代表 佐東範一氏

(2) 実務担当者勉強会(メセナ若手ネットワーク) (238千円)

会員企業・団体においてメセナ業務を担当する若手スタッフによる勉強会(分科会)等を下記のとおり実施しました。

■ 「コラボレーションのすすめ」

9月12日(金) / ゲートシティ大崎ウエストタワー / 参加者11名

ホスト：徳永恵美子氏(コスモ石油)

ゲスト：高橋雅子氏(ワンダー・アート・プロダクション代表)

■ 「社員参加プログラムのすすめ」

12月10日(水) / 富士ゼロックス本社会議室 / 参加者7名

ホスト：林良重氏(富士ゼロックス)

■ 「広報活動徹底研究」

<関西開催> 1月28日(水) / キリンプラザ大阪・KPOスタジオ / 参加者10名

ホスト：佐光慶亮氏(キリンビール)

<関東開催> 2月12日(木) / 松下電器産業東京会議室 / 参加者9名

ホスト：田中典子氏(松下電器産業)

■ 「2003年度全体会」

3月25日(木) / 東京国際フォーラム会議室 / 参加者12名

4. 顕彰事業(15,559千円)

4.1 メセナ大賞(9,942千円)

(1)「メセナ大賞 2003」には113団体・131件の応募があり、大賞部会の協力を得てこれらの調査・取材を行い、2003年9月29日(月)開催の審査委員会にはかり、次の企業および団体の受賞を決定しました。

- メセナ大賞 財団法人常陽藝文センター
郷土の芸術・文化の発掘と普及——20年目の挑戦
- 地域文化賞 株式会社松明堂書店
松明堂ギャラリー・音楽ホールの活動

※「メセナ note」読者賞も受賞

- 舞台芸術牽引賞 財団法人セゾン文化財団
現代演劇・舞踊への助成
- 芸術環境創出賞 財団法人ポーラ美術振興財団
美術分野における助成事業と美術館事業の展開
- 新領域開拓賞 トヨタ自動車株式会社
「トヨタコレオグラフィアワード」の実施
- 新世代支援賞 ホルベイン工業株式会社
第17回「ホルベイン・スカラシップ」の実施
- 児童文化貢献賞 株式会社ジャパンエナジー
「JOMO 童話賞」の実施
- 継続の力賞 出光興産株式会社
「題名のない音楽会」の継続提供

(2)2003年度より文化庁長官賞を新設することになり、次の活動が選出されました。

- 財団法人常陽藝文センター
「藝文友の会」を通じた常陽銀行の社員、家族に対する文化芸術に親しむ機会の提供

(3)本賞の贈呈式を11月27日(木)、東京・青山のスパイラルホールにおいて210名出席のもとに実施しました。

【2003年度審査委員】

池上 惇氏(京都橘女子大学文化政策学部長)／柏木 博氏(デザイン評論家・武蔵野美術大学教授)／南條史生氏(森美術館副館長)／松岡和子氏(演劇評論家・翻訳家)／三善 晃氏(作曲家・東京文化会館館長)／森まゆみ氏(作家・谷根千工房主宰)／渡辺 裕氏(東京大学大学院教授)／福原義春会長・理事長

5. 国際交流事業(1,343 千円)

5.1 各国のメセナ組織との交流

毎年1回、世界のメセナ協議会事務局が集まり、芸術文化支援に関する情報交換を行う「国際ネットワーク会議」が、本年度はオーストラリア主催で、8月11・12日にメルボルンで開催されました。今回は、8カ国の参加のもとに、「メセナの評価」「環境や教育などと結びついたメセナ」「文化税制」「非資金支援」など9つのテーマについての分科会が設けられ、例年よりも充実した内容の会議になりました（当協議会事務局からは若林朋子が出席）。

6. 助成事業(認定業務費 21,639 千円)

6.1 助成認定制度申請に関わる規定の改定

当協議会の「助成認定制度」を申請者や寄付者がともにより利用しやすいものにするため、本年4月より下記の3点について手続き上の規定を改定しました。

<改定内容>

「申請用紙」の入手方法の簡便化	■これまで申請用紙の入手には、企画書・予算書を事前に提出いただくことを条件としていたが、この手続きを廃止した。 ■これに伴い「申請用紙」は事務局にFAXまたはEメールで申し込めば、折り返し郵送することにした。また、ホームページからダウンロードする方法や地域相談窓口での入手も可能とした。
寄付金額下限の引下げ	当協議会を通じた寄付金額の下限を下記のとおり引下げた。 ・法人：10万円(旧) → 5万円(新) ・個人：5万円(旧) → 1万円(新)
「支援内諾書」の廃止	申請時に提出いただいていた企業の「支援内諾書」を廃止し、代わりに申請書の中に企業からの内諾状況について記載する欄を設けた。また、これまでは支援要請額の10%以上の支援内諾を申請の条件としていたが、この規定も廃止した。

6.2 「助成認定制度相談窓口」の開設

全国各地で制度の活用促進をはかるため、各地域の文化振興財団など関連機関に協力を求め、「助成認定制度相談窓口」を4月から順次設置していただきました（2004年6月1日現在：53カ所で設置済み）。

6.3 関西事務所の開設と開設記念文化フォーラムの実施

関西地区における制度の利用促進と企業によるメセナ活動のいっそうの啓発・普及をはかることを目的に、(財)大阪21世紀協会の協力を得て、同協会内に関西事務所を2003年8月1日から開設しました。また、これを記念して文化フォーラムを同協会と共催にて下記のとおり実施しました。

■ 文化フォーラム「文化の力が創造的な都市をつくる」

2004年2月3日(火)／ホテル日航大阪5階「鶴の間」／参加者300名

* 基調講演「文化と経済」：会長・理事長 福原義春

* トークセッション「文化の力が都市にもたらすもの」

パネリスト：川勝平太氏(国際日本文化研究センター 教授)

堀井良殷氏(財団法人大阪21世紀協会 理事長)

福原義春(会長・理事長)

司会：弘本由香里氏(大阪エネルギー・文化研究所 客員研究員)

■ 助成認定制度利用状況

制度の適用対象となるジャンルの拡大、申請手続き等の規制緩和、地域窓口の設置等により、2003年度の申請件数、寄付件数は大幅に増加しました。しかし、厳しい経済状況を反映して寄付金額は前年度をやや下回りました。

年度	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
申請件数	103	92	125	121	121	172	176	151	155	246
認定件数	83	80	109	115	111	155	165	146	153	234
寄付件数	159	430	661	769	697	752	879	949	835	1,001
金額(万円)	19,705	31,102	55,590	86,555	44,281	51,566	53,305	57,361	47,679	46,113
1件当り(万円)	123	72	84	113	64	68	60	60	57	46

7. その他の活動

7.1 講座への協力

京都橘女子大学に協力し、8月25日(月)～27日(水)に湘南国際村センターにて開催された「文化政策学プロフェッショナルセミナー」の一部プログラムを企画・担当しました。その他に下記のとおり、職員が委員・講師等の協力をしました。

依頼内容	依頼	日付	名称
委員	横浜市	11月6日(木)～ 3月31日(水)	都心部歴史的建築物の 文化・芸術活用実験事業推進委員会
委員	(特)トリトン・アーツ・ ネットワーク	4月25日(金)～ 6月30日(月)	評価委員会
講師	浜松市アクトシティ音楽院	8月30日(土)	主催者養成セミナー
講師	京都橘女子大学	8月26(火)	文化政策プロフェッショナルセミナー (企業メセナ協議会提携講座) 「企業と文化-メセナ活動の展開」
講師	(財)国際文化交流推進協会	9月6日(土)	映画上映ネットワーク会議 2003in 大阪
講師	(社)全国公立文化施設協会 関東甲信越静地区公立文化 施設協議会	9月11日(木)	関東甲信越静地区ブロックアートマ ネジメント自主事業研修会
講師	(社)日本芸能実演家団体協議会	10月14日(火)	芸団協セミナー2003秋ワークショップ
講師	埼玉大学	11月5日(水)	埼玉大学経済科学研究科東京ステーショ ンカレッジ「文化経済学と企業メセナ」
講師	早稲田大学アジア太平洋 研究センター	11月18日(火)	アートマネジメント入門
講師	いしかわし市民活動ネッ トワーキングセンター	1月18日(日)	NPO 入門講座
講師	千駄ヶ谷社会教育館	1月30日(金)	都市再創造講座
執筆	文化経済学会	2004年3月	『文化経済学』第4巻第1号 地域文化の振興と企業メセナ

7.2 「外来語言い換えの問題」に関して

国立国語研究所の「外来語」言い換え提案に対して、協議会自体の行動ではありませんが、協議会福原理事長・出口専務理事、根本長兵衛氏、加藤周一氏、丸谷才一氏、平田オリザ氏ら協議会関係者が有志として発起人となり、「メセナ言い換え語提案に反対する会」を発足させ、平成15年9月30日に日本外国特派員協会にて記者発表会を実施する等、継続的に反対アピールを行いました。その結果、「メセナ」は第2回の言い換え対象最終発表(2003年11月13日、国立国語研究所発表)では「保留」とされました。

7.3 インターンシップ受け入れ

2003年度は以下2名のインターンシップ研修生を受け入れました。主に、事務局内の資料整理・ホームページ更新業務等を担当しました。

受入NO.	派遣元・プログラム名	期間	氏名・所属
1	日産自動車 日産NPOラーニング奨学金制度	8月7日(木)～ 3月31日(水)	井上久美 日本女子大学日本文学科
2	産能短期大学 ビジネス・インターンシップ	2月2日(月) ～2月13日(金)	富樫由紀 産能短期大学ビジネス専攻観光国際コース

7.4 広報

■記者発表会の開催(3回)

発表テーマ	開催日	会場	出席記者
関西事務所開設	7月1日(火)	大阪・大阪国際会議場 (財)大阪21世紀協会報道説明会「舞台芸術・芸能見本市2003大阪」内で実施	15名
メセナ大賞2003選考結果	10月7日(火)	東京・東海大学校友会館 水戸・市政記者クラブ※	21名 5名
「2003年度メセナ活動実態調査」結果	11月13日(木)	東京・如水会館	13名

※2003年度の大賞受賞企業、財団法人常陽藝文センターの所在地・茨城県水戸市で開催。

■プレスリリースの発行

全国紙・ブロック紙・地方紙・業界紙・雑誌・専門紙誌等を対象にプレスリリースを発信(8件)。なお、随時、文部科学記者会、大阪の市政記者会での資料配布も行いました。

NO.	内容	発行日
1	「メセナ大賞2003」自薦・他薦で活動を募集 ～全国各地で頑張る企業のメセナ活動を募る。新たな審査委員が就任	4月1日(火)
2	企業メセナ協議会が大阪に関西事務所を開設 ～関西地区でのメセナ(芸術文化支援)の活性化をめざす～	7月1日(火)
3	「舞台芸術・芸能見本市2003大阪」セミナー「アートでまちの顔をつくろう!-アートサポート事例研究 in 関西」	7月25日(金)
4	「メセナ大賞2003」受賞企業・活動決定	10月7日(火)
5	2003年度「メセナ活動実態調査」結果 ～利益還元から社会投資としてのメセナへ～	11月13日(木)
6	関西事務所開設記念文化フォーラム 「文化の力が創造的な都市をつくる」大阪市内で開催 ～企業によるメセナ(芸術文化支援)の推進を強くアピール～	1月15日(木)

7	メセナ入門セミナー「なぜ、企業はメセナをするの？」 「メセナのいろは」から「企業とアートのいい関係」までの入門編。3 月4日、京都市内で開催	2月20日(金)
8	「メセナアワード2004」4月1日から公募を開始 ～これまでの「メセナ大賞」を「メセナアワード」に～	3月29日(月)

7.5 会議等の開催状況

理事会	3回	大賞部会	5回
評議員会	1回	研究部会	6回
通常総会	2回	助成選考委員会	6回
幹事会	8回	大賞審査会	2回
調査部会	4回		

[備考]

2003年度の部会メンバー一覧(敬称略、所属は2003年現在、◎印: 部会長)

調査部会	大賞部会	研究部会
◎ 岡部修二 (トヨタ自動車)	◎ 加藤恒夫 (大日本印刷)	◎ 加藤種男 (アサヒビール芸術文化財団)
大井屋健治 (朝日新聞社)	朝子正三 (ワコール)	市村作知雄 (アートネットワーク・ジャパン)
大場智行 (損保ジャパン)	市川哲夫 (第一生命保険)	片山正夫 (セゾン文化財団)
齊藤公治 (NEC)	小田原治 (みずほフィナンシャルグループ)	佐藤文昭 (松下電器)
嶋田実名子 (花王)	高辻ひろみ (資生堂)	佐藤正明 (ソニー)
中島康夫 (電通)	柄田明美 (ニッセイ基礎研究所)	島田京子 (日産自動車)

※なお、研究部会には、上記のコアメンバーに加えて次の方々にも自主参加いただきました。

岡本純子(セゾン文化財団) / 加藤美津絵(NEC) / 武安典代(三井物産)

柄田明美(ニッセイ基礎研究所) / 根本ささ奈(アサヒビール) / 福富達夫(セゾン文化財団)

山本勝彦(あいおい損害保険) / 山本真由美(トヨタ自動車) / 吉本光宏(ニッセイ基礎研究所)

2003年度の主な行事実施状況

月	日	曜日	行事	月	日	曜日	行事
2003					2	火	大賞部会
					7	火	大賞記者発表会
4	16	水	幹事会	10	10	金	フィールド視察(谷中)
	23	水	研究部会		17	金	幹事会
					28	火	セミナー
					30	木	研究会
					7	金	公開セミナー
5	15	木	フィールド視察(静岡)	11	13	木	メセナ活動実態調査結果記者発表会
	20	火	幹事会		19	水	幹事会
	26	月	助成選考委員会		27	木	メセナ大賞贈呈式
	2	月	大賞部会		4	木	セミナー
	13	金	理事会/総会/会員交流会		5	金	助成選考委員会
6	19	木	研究部会	12	10	水	実務担当者勉強会
	20	金	セミナー		15	月	理事会/評議員会
					"	"	大賞部会
					19	金	フィールド視察
					26	金	仕事納め
				2004	5	月	仕事始め
7	1	火	関西事務所開設				
	"	"	"記者発表会(大阪)	1			
	7	月	調査部会		20	火	幹事会/賀詞交換会
	9	水	幹事会		21	水	研究部会
	10	木	大賞部会				
	23	水	研究会		28	水	実務担当者勉強会
	1	金	関西事務所開設		3	火	フォーラム(大阪)
	4	月	助成選考委員会		6	金	助成選考委員会
8	5	火	調査部会	2	10	火	調査部会
	8	金	公開セミナー(大阪)		12	木	実務担当者勉強会
	9-17		(夏季休暇)		18	水	研究部会
	11-12	月	国際メセナネットワーク会議(オーストラリア)		23	月	調査部会
	12	火			26	木	大賞部会
	21	木	大賞部会		"	"	幹事会
	25-27		京都橘女子大学・葉山セミナー				
	8	月	大賞審査委員会		4	木	セミナー(京都)
9	10		幹事会	3	8	月	研究部会
	12	金	実務担当者勉強会		15	月	理事会/総会
	22	月	助成選考委員会				
	24	水	研究部会		25	木	実務担当者勉強会(全体会議)
	26-27	金	全国メセナネットワーク会議(出雲)		27	土	フィールド視察
	29	月	大賞審査委員会		30	火	助成選考委員会

以上